

製造業

- ◇パン…厳しい状況が続いている。衛生面、製造面、機械設備の維持、技術面、後継者不足など課題が山積している。生き残るためには、組合員一丸となって子供たちの食育に強い気持ちを持って仕事に取り組むことと感じている。
- ◇酒…12月の課税移出数量は前年同月比95.3%と落ち込んだ。特定名称酒（吟醸・純米・本醸造）は前年同月比104.3%と前月に引き続き好調だったが、普通酒が前年同月比93.2%、焼酎が前年同月比94.8%と持ち直しの動きが弱い。清酒輸出は毎年増加しているが、平成27年からは伸びが鈍化している。日本酒で乾杯条例を施行している自治体は、茨城県内の6自治体を含めて全国で118に増えた。地理的表示制度として「日本酒」が法的に明確化され、ブランド価値向上や輸出促進の観点から広くアピールしていきたい。
- ◇納豆…国産大豆の価格は上昇しているが、燃料価格が下落していることもあり、一時期みられた安売り合戦や資材高騰による収益の圧迫は落ち着いてきている。人手不足をどう解消するかが課題。
- ◇菓子…売上、収益ともに前年比で減少した。昨年より年始休みが短く、土産品の売上が落ち込んだことと、3週連続で週末に雪が降り、お客様の出足が鈍ったことが原因。
- ◇繊維製品(袋物)…先行きへの不安から注文が減少。年度末の注文に期待したい。
- ◇木材…製品価格は、先行きの見通しが立たず、全体的に保合の状況。プレカット工場は、昨年末から仕事を抱えているが、ほぼ例年通りの動き。建築関係では、増改築の細かな仕事が依然として多い。一部では消費税増税前の駆け込み需要が始まっているという声が聞かれる。
- ◇プレカット…昨年とは状況が一変し、加工数が目標の半分程度になってしまった。2月も同ような状況が続く見込み。
- ◇段ボール…業界全体をみると、対前年比で悪化した企業の方が多く、厳しいスタートとなった。原油価格が値下がりしているのに、原材料が下がるかと思っていたが、材料メーカーが強気で値下げの気配が感じられない。
- ◇総合印刷…上部団体の統計によると、2015年の紙・板紙の内需は前年比2.1%減で、5年連続マイナスとなった。電子化やペーパーレス化が進み、2016年も減少傾向が続く見込み。
- ◇プラスチック製品…取引条件は変化なし。しか

し、定期的に製品価格引き下げの話が出てきている。

- ◇焼物…一部の生産者に忙しさが戻り、活気が感じられるようになっている。この活気が、短期間にならないよう、また、産地全体に広がっていくよう頑張っていきたい。
- ◇鍍金…受注量、機械の操業度が前年同月より1割程度減少。特に、自動車部品、電機機械、建機関連の業績が良くない。銅、ニッケル、亜鉛などの金属材料や工業薬品の価格は落ち着いている。燃料価格が下がっているので、収益に良い影響を与えているが、資金繰りは厳しい状況が続いている。
- ◇電化機器…当月の生産高は対前年同月比△10.5%の580百万円。年度当初から続いている前年比マイナスは改善されず、依然として厳しい状況が続いている。
- ◇自動車部品…企業間の格差が拡大傾向にある。
- ◇工業団地(農機部品)…主得意先の輸出関連の在庫調整が終了し、受注は増加に転じた。国内向け製品についても、一部で受注が増加。雇用面では、本年1月から3月の受注を見込んで雇用者数が微増。

非製造業

- ◇水産卸…精算所取扱高は対前年同月比1%増。人員不足のため求人を行っているが、応募者が少ない。
- ◇県南地区卸売…組合員企業の土地を大手酒類メーカーに売却し、そのメーカーが組合員に加入。今までその土地を保有していた組合員は経営統合し準組合員となった。
- ◇食品卸売…野菜に関しては、数量微増・単価安で推移。特に、大根、キャベツ、白菜、ニンジンが単価安となったが、2月以降は回復する見込み。果実に関しては、数量減・単価高で推移。天候の影響でミカン、イチゴが品薄となり、前年を上回る価格となった。
- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数量は前年同月比約21%の減少。県南地域での建設工事が大幅に減少したことが原因と考えられる。
- ◇家電…厳しい市況が続いている。今年は、4Kテレビ、LED照明器具などの需要拡大に向けて、販促に役立つ企画を練り、組合員が一致団結して頑張っていきたい。お客様が関心を持っている「省エネ・創エネ・蓄エネ」と「安全・安心」を軸として策を練っていきたい。

- ◇**県北地区共同店舗**…売上が二桁の減少で大変厳しい状況。
- ◇**県央地区共同店舗**…衣料品の売上が悪かったが、他部門でカバーし、なんとか前年実績を確保。
- ◇**県南地区共同店舗**…気温が下がったため、衣料品が好調。その反面、生活・住居関連が苦戦。特に、家族連れの出店が少なくなっているため、アミューズメント関連は苦戦が続いている。全体的にみると、三が日は客数が少なかった。20日以降に盛り返したが、前年には届かなかった。
- ◇**中古自動車**…年末年始の休暇が例年よりも短かったこともあり、初売りが例年よりも低調。組合事業は回復の兆しが見られない。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は前年同月比で22円下落した。依然として、元売子会社や大手業者による仕入れ価格を下回るような価格での安値販売競争が県内全域で行われているため、経営環境は非常に厳しい。
- ◇**商店街(下妻)**…世界的な円高・株安の影響で消費マインドが低下し、暖冬の影響で冬物の販売が不振。今のままでは組合員の減少に歯止めがかからない。
- ◇**ホテル旅館**…県北臨海エリアを除く県内各エリアで宿泊客が微増。特に、日立、龍ヶ崎、筑西では工事関係者の連泊や、海外からの研修者の宿泊も増加している。昨年に引き続き、県北臨海エリアでは好転の兆しが見られない。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車89.6%、軽自動車97.2%とともに大幅な減少。
- ◇**総合建設**…各社とも年度末工事の完工に向けて忙しい。新年度(4月、5月、6月)の工事発注不

足を予測して、新年度にまたがる繰越工事の受注競争も始まっている。この工事発注の偏りは、毎年起きていて、多少改善されているがまだ是正されていない。新規雇用の意欲を妨げる要因となっている。

- ◇**電気工事**…4月からの電力小売り全面自由化に向けて、工事店の対応や電気使用申込方法について組合全体・各支部・7つの住宅工事センターで研修を行っている。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は横ばい。燃料価格は値下がり傾向だが収益は悪化。
- ◇**県北地区運輸**…月初は、食品・雑貨・生活用品・衣類など荷動きがよかったが、中旬以降は平年並み。先月に引き続き、住宅メーカー関連・スタッドレスタイヤ等の荷動きが良好。軽油価格は値下がりしたが、収益の改善にはつながらない。

H28.1月の業界天気図

| 業種 | 指数 | 売上 | | 収益状況 | | |
|-------------|----|-------|------|-------|---|------|
| | | 前年同月比 | | 前年同月比 | | |
| 食料品業 | | ▲ | 20.0 | | ▲ | 40.0 |
| その他製造業 | | ▲ | 60.0 | | ▲ | 45.0 |
| 卸売業 | | | 0.0 | | ▲ | 25.0 |
| 小売業(商店街を含む) | | ▲ | 27.3 | | ▲ | 72.7 |
| サービス業 | | | 0.0 | | | 0.0 |
| 建設業 | | ▲ | 20.0 | | ▲ | 20.0 |
| 運輸業 | | ▲ | 50.0 | | ▲ | 50.0 |
| 全体 | | ▲ | 36.7 | | ▲ | 44.9 |

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の状況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.1値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

| | | | | |
|------|---------|----------|------------|-------|
| | | | | |
| 30以上 | 10~30未満 | 10未満~▲10 | ▲10超~▲30未満 | ▲30以上 |

※表の中の数値はD.1値

中小企業者様の財産を様々なリスクから守るために作られた共済組合



茨城県火災共済協同組合

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館8階 029-224-0610